

近畿地区/大阪大会

第14回 全国生産活動・就労支援部会 職員研修会



利用者の成長と地域社会での活躍を支える
～就労支援事業所の役割とは～

趣旨

障害のある人の就労支援においては、昨年10月から個々の就労ニーズや適性をもとに就労をサポートする「就労選択支援」が開始されました。これに伴って支援者には就労に関するよりきめ細やかな本人の意思確認やニーズに応じた多様な選択肢の提案など、さらなる支援の充実が求められています。

また、利用者の自立につながる重要な取り組みとなる企業での就労に向けた支援の充実についても、より積極的な取り組みが求められています。

一方で、就労系事業を利用する人には、「今は企業での就労は困難だけど、すぐに働きたい」「(様々な事情から)自分にあった場所で自分にあった働き方をしたい」など、個々の状態や環境によって障害福祉サービスを利用したいというニーズもあります。これらの思いに答えながら個人の社会参加や自立の可能性を広げていくことも、就労系事業に求められる大切な役割です。

現在、全国の就労系事業所においては、地域の住民や各産業と連携しながら衰退する農業や産業、伝統技術の継承などに取り組むことで、地域の活性化に貢献している事業所が増えており、利用者は地域社会の抱える課題を解決する重要な担い手として期待され、活躍しています。

本研修会では、こうした取り組みが雇用機会の拡大や促進に大きな効果となって表れ始めている今こそ、障害のある人が自ら望む働き方によって、地域社会を支える一員として活躍し続けることができるよう、福祉と社会全体のシームレスな就労支援のあり方を考える機会としたいと思います。全国より多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 2026年9月29日（火）30日（水）

会場 ホテルアウィーナ大阪
大阪上本町駅 14番出口より徒歩3分

主催 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会
近畿地区知的障害者施設協会

後援 大阪府、大阪市、社会福祉法人大阪府社会福祉協議会
特定非営利活動法人日本セルフセンター

参加対象 障がい福祉サービス事業所において生産活動や就労支援に携わる関係職員

定員 研修会：170名
情報交換会：100名

参加費 会員：19,000円
一般：24,000円
情報交換会：10,000円
※インボイス対応不可

申込締切 令和8年8月31日（月）



見本市同時開催

1日目（9月29日）

受付 12:00~

1 開会式 12:30~13:00

樋口 幸雄

（公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 会長）

志賀 正幸

（公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会 部会長）

2 基調講演① 13:00~14:30

「福祉が挑む地域社会の未来創造」

皆川 芳嗣 氏

（一般社団法人日本農福連携協会 会長理事）

3 行政説明 14:30~15:30

「就労選択支援と就労支援制度の今後」

鈴木 大樹 氏

（厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 就労選択支援専門官）

休憩 15:30~15:50

4 基調講演② 15:50~17:00

「地域連携による就労支援と地域活性化」

榊原 典俊 氏

（社会福祉法人 青葉仁会 理事長）

情報交換会 18:00~



2日目（9月30日）

受付 9:00~

分科会 9:30~11:30



研修会2日目では、3つの分科会を通して、就労系福祉事業所が果たす役割を多角的に捉え直し、利用者支援から商品開発、さらには地域社会への貢献までを総合的に学ぶことを目的にしています。

事業所や就労支援が地域社会の中で果たす役割を再認識し、今後の取り組みをより豊かなものへと発展させるための学びの場となることを期待しています。

5-1 分科会①「就労選択支援の現場ニーズと対策」

鈴木 大樹 氏（厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 就労選択支援専門官）

今村 健 氏（社会福祉法人 平館福祉会 ジョブサポートあおねっと 所長）

鈴木 裕平 氏（社会福祉法人 中越福祉会 みのわの里 スリープジョブながおか 園長）

分科会①では、「就労選択支援の現場ニーズと対策」をテーマに、利用者が自らの働き方を選択していくために必要な支援のあり方を深めます。厚生労働省の鈴木就労選択支援専門官による講演を柱に、2つの事業所から施行後1年間の取り組みを踏まえた実践を報告いただきます。現場で直面する課題や解決策について共有するとともに、利用者の「働きたい」という思いの実現に向け、支援者として何が求められているのかを再確認する場としたいと考えます。

5-2 分科会②「魅力ある商品をつくり、魅力ある市場に流通させる」

藤林 亮 氏（株式会社良品計画 営業本部 京都奈良事業部 食事業地域商品開発担当）

長谷川 博信 氏（社会福祉法人あかりの家 納豆工房なっとこちゃん 就労支援統括理事）

羽矢 一弘 氏（社会福祉法人新友会ひまわり畑 施設長）

分科会②では、「魅力ある商品づくりと市場展開」をテーマに、生産活動で作る商品をどのように価値あるものへと発展させていくかを考えます。単に物を作るだけでなく、商品にストーリーや付加価値を持たせ、ブランドとして確立し、市場で評価されるために必要な視点を学びます。「無印良品・MUJI（株式会社良品計画）」で商品開発を担当する藤林氏を講師に迎え、企業のブランディングや流通の実例を紹介いただきます。また2つの事業所の実践から、商品のブランディングや販路の工夫などの報告をもとに、事業所の商品を次の段階へとステップアップするために具体的なヒントを得られる場としたいと考えます。

5-3 分科会③「就労系事業による地域社会と経済の活性化」

成田 英司 氏（社会福祉法人 新冠ほくと園 業務執行理事 統括施設長）

釘宮 謙悟 氏（社会福祉法人 博愛会 副理事長 第二博愛寮 施設長）

野村 尊実 氏（社会福祉法人 菊鉾会 ヒーローズ/西陣麦酒 施設長）

分科会③では、「就労系事業による地域社会と経済の活性化」をテーマに、地域の持つ課題を解決する際に福祉事業所がどのような貢献ができるかについて考察します。現在の就労系事業所は、障害のある人の支援にとどまらず、生産活動を通じて地域に新たな価値を生み出すことができる存在へと変化しています。3つの事業所（北海道・大分県・京都府）から、それぞれの地域環境や資源を活用して取り組む事例を報告いただきます。利用者の働く力が地域社会にどのように活かされているのかを具体的に学び、自身の事業所の活動を地域で広げるヒントを得る場としたいと考えます。

6 閉会式 11:30~12:00

同時開催

手しごと見本市IN近畿 一味よし、品よし、心よし

会期 9月29日(火) 12:00~17:30
9月30日(水) 9:00~12:30

会場 ホテルアウリーナ大阪 3F「二上」の間

当研修会では近畿地区会員施設の製品販売会として「手しごと見本市in近畿」を同時開催いたします。約10事業所100点以上の商品販売を予定しており、当地区の会員施設の取り組みをご覧いただくとともに、皆様が実施する生産活動の参考にさせていただける場としても活用いただけることを期待しています。商品一つ一つに込められたストーリーをじっくりご覧いただき、また、日々製造に携わる利用者さんの努力に思いを馳せながら、たくさんのご購入を頂けると幸いです。

会場アクセス

ホテルアウリーナ大阪

〒543-0031大阪府大阪市天王寺区
石ヶ辻町19-12
大阪上本町駅 14番出口より徒歩3分



参加申込方法

下記のURLまたは右の二次元バーコードより申込専用サイトにアクセスし、必要事項を入力ください。

<http://www.mwt-mice.com/events/seisan2026>



お問い合わせ先

【本研修全般に関すること】 一般社団法人大阪知的障害者福祉協会 (担当: 川口)
TEL: 06-6763-3785 Mail: osaka-chifukukyo@giga.ocn.ne.jp
【お申し込みに関すること】 名鉄観光サービス株式会社 京都支店 (担当: 吉田)
TEL: 075-255-2211 Mail: seisankatsudou14@mwt.co.jp